

【施策評価調査】

施策名	1-1-5 公園整備	71	政策1-1-1「計画的な市街地整備」を実現するためには、 ①快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。 ②宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。 ③景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、①快適に暮らせるまちづくりの実現のため、身近な休憩・遊びの場として、安全かつ気軽に利用できる環境づくりを目指します。
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当 リーダー 施設管理担当 岡本 英男	
環境変化	特になし		子供から高齢者までだれもが気軽に利用できる公園を整備し、住宅供給地としての魅力向上を図ります。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:公園美化ボランティア育成団体数	平成16年度美化育成団体数 目標育成団体数 20団体(開設公園数)	計画	0	0	5団体	8団体	12団体
	0団体	実績	→ 0	→ 0	↓ 0	↓ 0	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆	ボランティアの組織化に関しては、地域の自主活動の中で組織・運営されるものと考えてるので、関係する各課と連携し、機能的な組織となるようまずは十分な協議・検討をすることとし、廃止事業となったが、引き続き、まちづくり協働推進計画を具現化する一つの手法として検討していくものとする。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	9,000,000	0	0	
決算	0	7,245,000	0	0		

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)		
①	当初					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
②	当初					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
③	当初					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
④	当初					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
⑤	当初					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	区画整理事業においては、平成27年度完了を目指し、公園整備についても事業の進捗とともに推進している。また、宝積寺駅周辺の整備も完了し緑地公園が設置されている。さらに、平成23年度景観形成条例の制定により地域住民の協力を得て、公園の良好な維持、管理を推進していく。	区画整理事業の推進により整備される公園や宝積寺駅周辺の整備に伴う緑地公園等については、平成23年度制定される景観形成条例を機として、協働によるまちづくりの理念に基づき、地域住民との協働により公園美化ボランティアを育成、推進し、適切な維持管理を行っていく必要がある。
総合評価	既に都市計画決定された都市公園・緑地の整備状況を見ると未整備の公園はあるが、市街地内の公園はほぼ充足されていると判断する。また、現在行っている区画整理事業地内については、進捗状況をみながら整備することとし、今後はまちづくり協働推進計画の具体的な取組みとして、住民が行うこと、町が行うことを整理した上で、維持・管理を行う仕組みを検討すること。それに伴い、後期計画での当施策のあり方は検討すること。	